

## 和歌山県田辺地区

重点プロジェクト2:ICT等を用いた情報管理とトレーサビリティの確保

# スマートサプライチェーン構築に係る原木市場の活性化支援

～既存木材情報システムのフォローアップ～

### 現状と課題

田辺地域には、田辺木材共販所、龍神木材共販所の2つの原木市場があり、古くから地域の原木流通を支えてきた。一方で、近年は直送が増え、取扱量は減少傾向にあり、原木市場としての有利販売を模索している。また増産された素材を高付加価値販売可能な需要者に販売していくため、新規顧客を開拓する必要がある。

### 取組概要

- ① Web入札システム(田辺木材共販所、龍神木材共販所)の導入
- ② 原木の強度表示による「価値」の見える化
- ③ 田辺木材共販所、龍神木材共販所の2社が共同で木材販売を実施する「紀州材原木祭」(合同木材市)の開催及び新規顧客を獲得するための各種取組(顧客営業、パンフレット作成、SNS発信、高付加価値化をPRした広告出稿)

### 取組の成果・効果(上記、取組概要①、②、③に対応)

- ① コロナ禍で市場に来場できない顧客とも取引が可能となり、また営業可能な範囲が広がるなどの効果が出ている。出荷者は中間土場から販売可能となり、市場への運搬コストを低減できる効果がある。
- ② 強度を必要とする買い方にとっては、原木購入ロスが少なくて済むというメリットがあり、その分、単価を上げて購入してもらえる。
- ③ 優良材荷主の出荷欲・市場の集荷欲が高まり、遠方の新規顧客が増加、合同市開催前・開催後の月平均取扱量が約14%増加した。

### 取組が進んだ要因(上記、取組概要①、②、③に対応)

- ① コロナ禍で一時期、対面販売ができない状況があったこと、システム化による事務の効率化・省力化が求められていたこと、単価向上のため、遠方からも購入できる手法を検討していたこと
- ② 「紀州材」が「強さ」という武器を持っていたこと
- ③ 田辺木材共販所と龍神木材共販所が地域林業を盛り上げるという共通目的があったこと、新規顧客獲得のためには良いものをたくさん集める必要があったこと

### これから取組む地域へのアドバイス

ニーズを見極め、必要としているところ(人)へ必要な材が届くシステムに更新することで、需要と供給の最適化を図るスマートサプライチェーンが構築され、単価の向上にもつながると考えている。

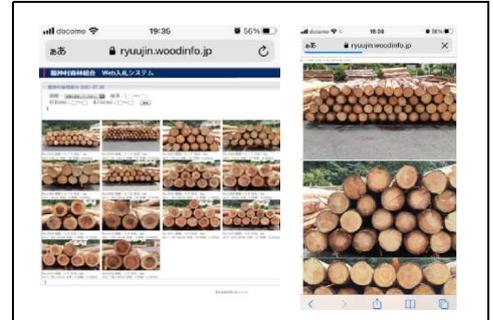
#### 【担当】

田辺市山村林業課 中谷

#### 【連絡先】

メール: nakatani.h@city.tanabe.lg.jp

電話: 0739-48-0303



① Web入札システムの導入



② 原木の強度表示による「価値」の見える化



③-1 「紀州材原木祭」(合同木材市)の開催



③-2 紀州材啓発パンフレット